

## 2013年9月3日開催 第581回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
佐藤卓己委員 佐藤友美子委員 東野博昭委員 若菜英晴委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長 榎本専務 梅本常務 豊田取締役 木田取締役  
西村編成局長 赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長

### ◆ 審議事項

- 1、「全国ネット番組」(情報系番組、ドラマ、バラエティ番組)について
- 2、「放送番組の編集に関する基本計画」の変更に関する諮問
- 3、その他(報告事項) 日本放送文化大賞近畿地区審査について

#### 1、全国ネット番組について

各委員の主な意見は次の通り。

- ・「テレビ未来遺産～報道ドラマ生きろ～戦場に残した伝言～」は、新たな事実、知られざる事実をまじえながら、歴史の事実とドラマを組み合わせた、非常に見応えのあるすばらしい番組だった。  
「未来遺産」という言葉が何を意味するのか。このシリーズの一貫したテーマは何かというのがちょっとわかりにくい。
- ・「中居正広のキンスマ」の企画で、この半沢ブームの人気は何なのか、その分析、あるいは視聴者の声など、何がこんなに受けているのか、踏み込んだ分析があればよかった。
- ・「なるようになるさ」は、普通の家族を描いているはずが、リアリティーがなくて、何かちょっと時代感覚が違うんじゃないかと気になった。
- ・「朝ズバッ！」のセクハラ事件が昨日の朝の話題になっていた。TBS は、みのもんたには注意せず、番組の担当者に対して注意をしたということが出ていたが、どこかおかしいと感じた。今みんなが見てくれているからいいということではなくて、どういう人を育てているか、その視点が必要なんじゃないか。
- ・「がっちりマンデー！！」は、加藤浩次さんが仕切っているが、素朴な感じで、そのまま私たちが言いたいことをすつとってくれる。タレントだからと特別はしゃぐ必要は全くなく、自然体ですごく見やすい。
- ・「半沢直樹」は、今の社会の空気というものを非常によく反映している。「空飛ぶ広報室」は、東北の震災を時代のバックにおいて、広く国民全体が共感できる形で物語が展開していたので、安心して楽しく見られるドラマだ。
- ・「朝ズバッ！」。ナショナルワイドなネットワークは重要だが、関西の文化といったものを考える時に、あの朝の重要な時間は、できれば毎日放送で制作して欲しい。

- ・「半沢直樹」は、原作がかなりきっちり取材をされていて、本物というところで共感されていると感じる。また、役者の演技力がすばらしいことで、ドラマが締まっている。
- ・「朝ズバッ！」のセクハラという問題、パワハラでもあると思うが、こういうことがあると特に女性の視聴者は離れていってしまう。
- ・「がっちりマンデー」「THE 世界遺産」「夢の扉+」「情熱大陸」。ここ数年、番組の所要時間がどんどん長くなる傾向があって、平日は2時間、3時間というのが普通になっていく中で、30分というのはコンパクトで見やすい。
- ・「マツコの知らない世界」は、個人的に知らない世界に踏み込んで行く。単純な対談だが、非常に興味をそそられる。すぐ1時間にできる番組だと思うが、深夜のまま続いてほしい。
- ・「半沢直樹」は、スカッとするという部分でももちろん人気があるが、細かいところが非常に丁寧に描かれていて、それが魅力の部分でもある。家族で見ると健全なのが非常にありがたい。
- ・「TAKE FIVE」。サスペンスあり、アクションあり、恋愛ドラマありという、大人が見ていてもおしゃれで、すごくよくできていたドラマだ。
- ・「サンデーモーニング」。抜群の安定感と高視聴率を保っているTBSらしい長寿番組だが、サブキャスターの方が年齢を重ねてきていて、新味を上手に入れていく必要があるんじゃないか。
- ・「テレビ未来遺産～報道ドラマ生きろ～戦場に残した伝言～」。ドラマとドキュメンタリーとをうまく組み合わせながら、もっと関心を持ってほしいという願いが伝わってくる。命というものをもっと大切にしながら平和の問題を考えていこうというメッセージが全体から立ち上ってくるいいドラマであった。

## 2、について

再免許申請に際し、「放送番組の編集に関する基本計画」が変更されたため、番組審議会に諮問された。社側の変更説明を受け、本審議会でも変更案は、承認の答申を受けた。

## 3、について

日本放送文化大賞の近畿地区審査の審査委員として、ラジオ番組は若菜委員が、テレビ番組は荒巻委員長が参加された。お二人から地区審査の様子が報告された。

以上